

歯科保健政策特論

Advanced Course of Dental Health Policy

キーワード

- ① 歯科保健政策
- ② 健康格差
- ③ 地域差
- ④ 世界保健機関
- ⑤ 厚生労働省

授業概要

国内外のいずれにおいても口腔の健康状態の地域差があり、その縮小が重要な課題となっている。健康状態の地域差を縮小・解消するためには、住民個人の努力のみならず、それを支援する政策的な枠組みが必要となる。そこで、国際的には世界保健機関における文献やデータを用いて、国内については厚生労働省をはじめとする既存統計資料および国内外の専門誌等の文献を用いて、口腔の健康状態における地域差の現状を概説するとともに、その縮小・解消に向けて必要となるアプローチ方法について議論する。

授業科目の学修目標

本科目では、国際的にも国内においても大きな問題として認識されるようになっている健康格差について、歯科領域を含めてその現状および関連する要因を理解し、格差解消に寄与する歯科保健政策の原理と方法を理解するため必要な知識を修得することを目標とする。

授業計画

- ① 国際的および諸外国における歯科保健の地域差
・う蝕に関する地域差 4コマ 山本龍生
・歯周病に関する地域差 4コマ 山本龍生
・その他の口腔疾患に関する地域差 4コマ 山本龍生
- ② 国内における歯科保健の地域差 6コマ 山本龍生
- ③ 国際的および諸外国における歯科保健政策 6コマ 山本龍生
- ④ 国内における歯科保健政策 6コマ 山本龍生

教科書および参考書

近藤尚己著：健康格差対策の進め方 効果をもたらす5つの視点、医学書院、2016

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

歯科を含めた健康情報の疫学に関する予備知識が要求される。また、国内外の原著論文や総説論文を熟読し、その内容を理解する能力が求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 国際的および諸外国における歯科保健の地域差を説明できる。
- ② 国内における歯科保健の地域差を説明できる。
- ③ 国際的および諸外国における歯科保健政策を説明できる。
- ④ 国内における歯科保健政策を説明できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
50%	0%	20%	0%	0%	30%	0%

評価の要点

- ・試験は、授業計画で行った講義の知識の理解度を判定する。1回50%
- ・レポートは、授業計画①から④の各項目について課題を提出する。5%×4回=20%
- ・口頭試問は、授業終了後毎回行い知識の理解度を判定する。1%×30回=30%

理想的な達成レベルの目安

理想的な達成レベルは80%以上とする。